

健康・医療分野部会（平成 27 年度第 2 回）議事録

1 日時

平成 27 年 10 月 5 日（月）午後 6 時 30 分～午後 7 時 40 分

2 場所

福岡市役所 15 階第 4 会議室

3 出席者

別紙のとおり

4 議事

(1) 開会

(2) 委員紹介

(3) 議事

・保健福祉総合計画各論「健康・医療分野計画」の策定について

(4) 閉会

5 議事録（要点筆記）

(1) 開会

事務局：・会議成立の報告
・会議公開の報告
・会議資料の確認

(2) 議事

保健福祉総合計画各論「健康・医療分野計画」の策定について

事務局：資料 3 の P1～P25 を元に前回からの変更点を説明。

部会長：P1～P2 の基本理念及び P3 の施策の体系について何か意見はあるか。

委員：基本理念の 3、4 行目は、「こどもから高齢者までが健康で安全・安心な暮らしを享受できる社会の形成を目指す」としたほうが良い。

部会長：基本理念は目標 1、2、3 に順番を合わせた方がよい。

部会長：目標 1 について何か意見はあるか。

P11 のゲートキーパーという言葉は一般に普及している言葉か。

委員：自殺予防で使用する言葉。自殺予防を専門にやっていないと分からない。

- 事務局：ゲートキーパーは門番という意味で、自殺しようとしている人の悩みを聞いて支援者につなぐ役割の人。民生委員や理・美容院の人等に研修を行っている。ただし、認知症サポーターのように登録制度はない。ゲートキーパーについて、言葉の説明を追記する。
- 委員：ロコモティブシンドロームは何回も出てくるが、これまで推進してきたメタボリックシンドロームの予防についても引き続き記載した方がよいのではないか。
- 事務局：検討する。
- 委員：P7の(3)だが、福岡市の将来の健康問題について、高齢になるほど女性が社会にとって負担になるような記述になっているが、女性の立場から見てこのような記述でいいのか疑問。
- 事務局：男女ともに健康づくりはもちろん必要だが、国も女性の健康づくりに重点的に取り組むとしている。妊娠、出産を経験するなどの女性ならではの特性を少し付け加えたい。
- 部長：目標2について何か意見はあるか。
- 委員：国家戦略特区に絡んでの外国医師による診療を活用した事業はできるのか。
- 事務局：九大病院と実施に向けて手続きを進めている。実際に治療する患者とマッチングが可能かという課題はあるが、治療をすることを念頭に進めている。
- 部長：施策2-1だが、家族に対しての支援は具体案があるか。
- 事務局：現在、直接介護を行う家族に啓発を行う方法について、ワーキンググループを構成し、検討を行っている。
- 部長：目標3について何か意見はあるか。
- 委員：P20の⑥のエボラ出血熱やMERS等の新興感染症が、福岡市だけで起きた場合に対応する場所や施設は決まっているのか。
- 事務局：エボラ出血熱が起きた場合は、第1種の感染症指定医療機関で対応することとなるが、福岡市にはなく、古賀市にある。MERSが起きた場合は、市内3か所の第2種の感染症指定医療機関で対応することになる。
- 委員：P22ページの(4)環境衛生の推進で公衆浴場と貯水槽と火葬など特別な施設だけが取り上げられているがよいのか。
- 事務局：日常使う施設において、衛生的に配慮する必要があるものであり、また地域保健法の保健所業務の施設の衛生管理を図ることによって、人の健康を間接的に確保する施設を列挙している。